

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 48
2020.4

TOPICS

1

入学式に代わり学長からのメッセージ動画を掲載



本学は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、令和2年4月2日に岡山県体育館(ジップアリーナ岡山)にて挙行を予定しておりました、令和2年度岡山大学入学式及び大学院入学式を中止し、代わりに学長のメッセージ動画を掲載しました。

新入生の皆さま、保護者・ご家族をはじめ関係する皆さま方におかれましては、人生のかけがえのない節目となる入学式を心待ちにされていたことと存じますが、本ウイルスの感染力の強さや現在の感染拡大状況を考慮し、皆さまの安全を最優先と考え苦渋の決断に至りましたこと、何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

学長からのメッセージ動画は、以下URLからご覧いただけます。

参考 <https://www.youtube.com/watch?v=Nq0NPhIjbnY&feature=youtu.be>



TOPICS

2

新型コロナウイルスについて学ぶ、児童向け教材を開発！

岡山大学SDGs推進本部は、一般社団法人知識流動システム研究所などと共同で、新型コロナウイルスへの理解を深め、感染予防を進めることを目的とした教材「新型コロナウイルスについて、いっしょに考えよう！」の企画・開発を行いました。

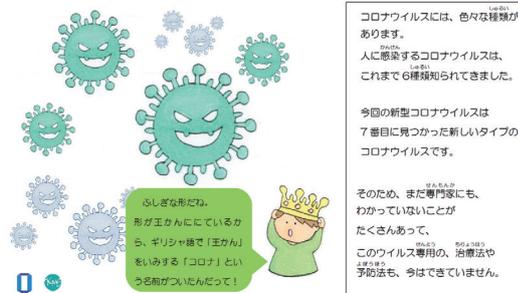
新型コロナウイルスの感染者数などの状況は地域で大きく異なりますが、学校や校外学習、さらに日常のさまざまな場面で新型コロナウイルスへの理解を深めることが、感染予防には不可欠です。また、学校再開を控える地域にとっては、感染予防を着実に進めるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大という現実課題を通じて生徒が学んでいく視点も重要です。

本教材は、私たちが疑問に思いがちなことを科学的な観点から平易に説明し、小学生でも納得して行動できるように工夫しています。また、ウイルスへの興味をきっかけに科学的な関心が深まるようにQ&Aを用意しています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9281.html



①コロナウイルスってなに？



Pick up!

新型コロナウイルス感染症への対応について

【岡山大学の活動制限指針】

授業や研究などの活動内容毎にレベルを表しています。各活動の現在の活動制限状態を示しており、今後の感染状況の変化等により、見直しを行います。

参考 <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/aboutcoronavirus.html>



【教職員の皆さんへ】

教職員向けのまとめページを作成しました。随時更新しますので、定期的にご確認をお願いします。

参考 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/tp/profile/tostaff-aboutcoronavirus.html>



TOPICS

3

オンライン授業を行うための教職員向けシステム講習会を実施

本学は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度第1学期の授業開始を4月20日に延期したうえで、当面の間授業を原則オンラインで行うこととしています。これに向けて4月2、3日、学内教職員を対象に、オンライン授業を行うためのシステム利用講習会を実施しました。

講習会は津島キャンパスと鹿田キャンパスで計3回実施し、全学教育・学生支援機構の籠谷裕人准教授が説明を担当。eラーニング用プラットフォーム「Moodle」を利用した資料や動画のアップロード、小テストの実施やその採点の方法のほか、チャットやビデオ会議システムを利用したリアルタイムでの授業の実施方法などについて説明しました。計約150人の教職員が参加し、実際にパソコンを操作しながらオンライン授業の方法を学びました。講習会の様子は、学内向けに動画でも配信しています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9283.html



TOPICS

4

心理学×VRで火災による死者をゼロへ 住宅火災予防に係る研究についての契約を締結



本学は、岡山市消防局及びVRソフト開発の株式会社白獅子との三者間で、VR（バーチャルリアリティ）を利用した、住宅火災予防に係る研究についての契約を締結しました。

仮想空間で住宅火災を体験した人間の、避難時の軌跡（行動）をデータ化するシステムを開発し、そのデータを集約します。集約したデータは、心理学的観点で分析を行うことで、データ・エビデンスに基づいた最適な避難方法の研究を行います。VRソフト開発を株式会社白獅子が、監修・火災データ提供を岡山市消防局が担当し、心理学的領域に関しては、本学大学院教育学研究科の岡崎善弘講師が担当します。

VRによる、住宅火災被災時における生存率向上を目的とした行動データ集積システムの開発および研究は全国初となります。今年度から来年度にかけてデータを集め報告書をまとめていきます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9355.html

PRESS
RELEASE

術後痛に対する新しい医療機器 「クーデックエイミーPCA」が医療現場に登場！

大学院医歯薬学総合研究科（医）の森松博史教授、岡山大学病院の清水一好助教、大研医器株式会社との共同研究グループは、医薬品注入用ポンプで、使い捨てできる超小型のマイクロポンプを開発しました。このマイクロポンプを使った手術後の痛みを和らげるために使用する医療機器「クーデックエイミーPCA」を開発し、世界で初めて臨床現場で使用しました。特定臨床研究として、手術後の患者さん5人に対して使用したところ、大きな問題が起こることなく十分な鎮痛効果が得られ、安全に使用することができました。

本品は、スマートフォンのアプリで操作や設定ができることが特徴で、複雑な設定やデータ収集等の管理を簡単に行うことができます。また、マイクロポンプとスマートフォンを使うことで、従来の2種類のPCAポンプの長所を活かした製品となっており、非常に軽く、持ち運びも楽になるので患者さんの早期離床を促し、QOL向上に寄与することが期待されます。さらに、従来製品よりも使い捨てのポンプ部分の費用削減が可能となり、医療経済的にも有意義となるでしょう。今後、痛みに対する薬の投与だけでなく、医療現場で広く使用できる可能性が期待されます。



クーデックエイミーPCA

マイクロポンプ



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id720.html